



東京の 鉄道と地域

～鉄道開業150年記念

令和4年度
東京都公文書館
企画展

令和4年7月25日(月)～9月20日(火) 9時～17時(入場は16時30分まで)
※休館日: 第三水曜日(8月17日)・日曜日・祝日

会場 東京都公文書館 展示室
東京都国分寺市泉町二丁目2番21号 ☎042-313-8450

入場無料

東京都公文書館ホームページ <https://www.soumu.metro.tokyo.lg.jp/01soumu/archives/>



ごあいさつ

本年はわが国初の鉄道路線が新橋・横浜間に開通して 150 年という節目の年に当たっています。東京都公文書館ではこの機会に、東京における鉄道の発展の過程をたどり、その意味を地域の視点から捉え直してみる展示を企画しました。およそ次のような構成で、東京の鉄道に関するトピックスを取り上げていきます。

- I 鉄道開業～新橋・横浜間鉄道
- II 馬車鉄道から市街鉄道へ
- III 多摩地域の鉄道
- IV 都市の発展と鉄道
- V 市電から都電へ～さくらトラムの源流を探って

この各コーナーを構成する主な資料は、東京府・東京市・東京都がその行政活動を展開するために作成し、後年の利用のため系統的に整理・保存を行ってきた公文書類です。鉄道敷設のため用地の確保から、私鉄各社の路線許認可に関わる記録、それらに添付されたさまざまな図面など、「鉄道」というテーマに限っても実に多様な公文書等が残されています。

東京の鉄道のあゆみと、それがもたらした地域の変容をたどりながら、そのような歴史を再現する上で欠かすことのできないアーカイブズの力を感じていただければ幸いです。

関連講演会

講座名 令和4年度企画展「東京の鉄道と地域～鉄道開業150年記念」関連講演会

日時 令和4年9月2日(金) 午後2時から

会場 東京都公文書館 研修室

内容 「公文書から見た新橋・横浜間鉄道の開業事情」

講師 東京都公文書館 西木 浩一

「考古学から見た開業期の鉄道について」

講師 港区埋蔵文化財調査指導員 齊藤 進 氏

募集定員 40名

募集開始 令和4年7月30日(土)から (先着順)

参加費
無料



応募方法は東京都公文書館ホームページ「展示・講演会」を御覧ください。

URL https://www.soumu.metro.tokyo.lg.jp/01soumu/archives/04tenji_kouen.htm#m2

交通機関

JR中央線・武蔵野線「西国分寺」駅 徒歩8分

京王バス・寺85系統「いずみプラザ前」 徒歩4分

ぶんバス・万葉けやきルート、北町ルート、日吉町ルート「西国分寺駅東」
徒歩5分

※ご来館の際は公共交通機関をご利用ください。車、バイクで来られる方は近隣の駐車場をご利用ください。なお、身体障害者用の駐車スペースをご用意していますので、ご利用の際には事前にお問い合わせください。自転車は、駐輪スペースをご利用ください。

